

歯っぴ〜 ライフ

◆ 県歯科医師会編 ◆

卒業、入学のシーズンも終わり、はや三カ月がたちました。沖縄歯科衛生士学校でも、三月九日に卒業式が行われました。現在、学校は「二年制」から「三年制」への移行時期で、今回が最後の「二年制」卒業生となりました。

山城 正裕 (山城歯科医院・那覇市)



Happy
Life

57

健康長寿の担い手に

士のさらなる資質の向上が求められるようになってき

たのです。法的にも、二〇一〇年春までにすべての歯科衛生士教育機関が三年生以上の教育年限に統一されます。四年制の大学もすでに新設されています。二〇〇七年度現在、全国の歯科衛生士養成所百五十二校のうち、十六校が三年制へ移行済みです。歯科衛生士の業務は、第一に歯科予防処置です。歯の表面に付着した歯垢や歯石を除去したり、フッ素や虫歯の進行止めの薬を歯に塗布し、虫歯の発生や進行を防いだりします。



第二に、歯科診療補助です。歯科医師と協力して歯科診療をサポートします。このとき、歯科医師と患者さんとの間に入り、橋渡しとなることも要求されます。そのため、一般常識は欠かせません。

第三に、歯科保健指導です。診療所をはじめ、学校、保健福祉センター、高齢者施設などで口腔ケアについて指導する役割を担います。

重要な歯科衛生士の役割

健康長寿のため、自分の口から栄養を摂取することとはとても大切なことです。寝たきりで、のどから食事をとっていた老人が、摂食機能訓練で自分の口から食物を食べられるようになること、信じられないほど元気になったという話が、先日テレビで放映されました。

虫歯、歯周病は予防が大切です。歯を削ったり、歯を抜いたり、入れ歯を作ったりという現在の歯科治療も、予防を中心とした内容にシフトしていくと思われまます。このとき、歯科医療の中心的存在となるのは歯科衛生士です。これからの時代に対応できる歯科衛生士を育成するため、沖縄歯科衛生士学校のカリキュラムは非常に広範囲のものとなっています。

歯科衛生士は、今後ますます注目されるでしょう。